

令和4年度第2回柏市文化振興審議会に係る報告（意見の取りまとめ）

課題と主な事業	委員	質問や意見の概要
課題① アフターコロナを見据えての文化・芸術活動の見直し	香島委員	<p>市が「音楽の街」を発信している以上、今年度の事業の約半数を音楽に関するものが占めるのはいいが、芸術文化事業として全体を考えると、新たな分野を取り入れるべきと考えます。</p> <p>芸術を身近に触れてもらうことが文化課の仕事でもあると思います。本物の芸術に触れることはお金もかかるし、知識も必要ですが、恒例化した企画をこなす上に大変ではありますが、情熱を持って取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>「芹沢銈介作品展」を1～2年休止してみたいかかでしょうか。</p>
	林委員	<p>コロナ禍で大々的には行えなかった文化祭や各場所でのコンサートが少しずつ開催され嬉しく思っております。しかし、以前のように100%元に戻すことは多大なエネルギーと、自粛を余儀なくされた3年間を取り返すのは時間がかかります。また、世代も代わり、開催する形、また参加される方々の層や年代も入れ替わります。新しい世代の方々に参加を是非呼び掛け、新しい文化、街づくりが必要だと感じます。私たちからも声掛けやステージ参加をしながら若い世代にバトンタッチし、新しい「柏の文化」を作り上げていきたいと感じています。少しずつ活気も戻りつつある中、以前のような市民の方々との交流を復活させながら、新しい人材、コンサート方法の発掘をしていきたいと思っております。</p> <p>美術も関連付けた「新しい柏、音楽の柏」を少しずつでも打ち出せるようお手伝いが出来ればと思います。</p>
	亀岡委員	方針に賛成。
	手塚委員	<p>2年以上も続くコロナ禍により年齢層が高いメンバーの合唱団は、解散、活動停止、メンバーに不幸があったりと大変です。これまで合唱団で活動してきた経験から、高齢になるにつれ、お出掛けが億劫になることの予防対策としての合唱、仲間と会って会話をすることで躁うつ傾向の予防、歌うことで滑舌が良くなるのが喉のケア、深呼吸の効果等々を生みます。合唱団で歌うことは、楽しみながら多くの効用がある良いことだと思っています。コンサートを聴きに行くこともとても大切ですが、来年度に向けた事業の中に、上記の効用を踏まえて、参加型のワークショップ「歌う♪」を取り入れてはいかがでしょうか。また、高齢者のみならず、老若男女に共通するワークショップにもなります。</p>
	波木委員	<p>国境や言葉の壁を越えられるものであること、柏市には多くの海外の方もお住まいであることから、日本人と海外の方々がごちゃ混ぜになって楽しめる文化活動もあるとより良いと感じました。</p>
	塘委員	<p>新型コロナウイルスが再び落ち着いてきて、まだまだ対策は必要ですが、イベント等が開催しやすくなってきたと思います。今後、今まで制限されてできなかったことが実現していけると良いです。アフターコロナということで、今までとは違う形になるかと思いますが、定着していけると良いと思います。</p>
アウトリーチコンサート	中村委員	<p>子供達が学校の部活動以外にも楽しく参加できるよう、少人数のグループでの参加を提案します。</p>
	亀岡委員	<p>現状では公共施設での開催が多いので、もう少し多様な場所でのアウトリーチコンサートが催されることを希望します。特に子育て世代には、買い物ついでに立ち寄れる場所で実施されると、より身近になると思います。市内各所にショッピングセンターがあるので活用できると良いと思います。また、最近、柏神社は神楽殿を開放しています。</p>
	熊谷委員	<p>親子で聴けるコンサート、コロナ禍で遠出をためらう親にとっては、とても好都合な機会ではないでしょうか。小さなお子さん向けに気軽に聴ける芸術事業として、期待したいです。</p>

課題と主な事業	委員	質問や意見の概要
旧吉田家住宅 土間コンサート	塘 委員	難しいかもしれませんが、子連れイベントの日があれば進んで参加したいと思います。和の空間の雰囲気を感じられる、音楽も感じられる、良い機会になるのではないかと思います。
	熊谷 委員	土間で座ってコンサートを聴けるということ自体大変珍しいものと思います。また、そういう場においてコンサートが開催となるとそれこそ柏市でないとできない、貴重な芸術作品であると主張して良いと思います。今後も不定期でも、継続して開催して欲しいと思います。
ららぽーと柏の葉 ミュージックふえすた	中村 委員	子供達が学校の部活動以外にも楽しく参加できるよう、少人数のグループでの参加を提案します。
	熊谷 委員	無料参加という点において、買い物ついでに偶然音が耳に入り、ふらっと音楽に触れられる良いきっかけになると思います。鑑賞人数も多く、とても良い傾向とします。これまで未参加学校にも積極的にアピールし、発表の場として活用すること、双方にメリットがあると思います。「音楽の街かしわ」、演奏者にも聴き手にも広まる絶好の機会、引き続き取り組みをお願いいたします。
子ども向け 芸術鑑賞会	亀岡 委員	例えば、落語はいかがでしょうか。特に「怪談話」などは子供達の興味をそそり、巧みな話術を目の当たりにすることは印象深い経験になると思われれます。
かしわ塾	亀岡 委員	評判が良いようですし、1日では足りないのでは？と思いました。
	塘 委員	市立柏高校がある柏市ならではの素晴らしい取り組みだと思います。受講する側にはすごく良い経験だと思いますので、やって頂ける高校側の負担にならないように今後も続けていってもらえると良いと思いました。
	熊谷 委員	これからの未来を担う学生たちに向けて、この取り組みはぜひとも継続して欲しいです。今は種まきの段階であっても、この参加をきっかけに、いつかは大きな成長を遂げることを期待したいです。アンケートの声を反映し、1日だけでなく、日程をわけてでも数日間開催へ規模を拡大してよいと思います。
中学校音楽鑑賞教室	熊谷 委員	これからの未来を担う学生たちに向けて、この取り組みはぜひとも継続して欲しいです。今は種まきの段階であっても、この参加をきっかけに、いつかは大きな成長を遂げることを期待したいです。アンケートの声を反映し、1日だけでなく、日程をわけてでも数日間開催へ規模を拡大してよいと思います。
課題② 情報発信の強化	亀岡 委員	方針に賛成。ただし、具体策が課題
	手塚 委員	年齢層で情報の受け取り方が異なります。もっと若い審議会委員も参加して、情報発信のより効果的な意見等を伺いたいです。

課題と主な事業	委員	質問や意見の概要
	波木委員	<p>柏市史料デジタルミュージアムにつきましては、どのような資料を所蔵しているのかがわかる素晴らしい取り組みなので、地道にデータをアーカイブし続けていただきたいです。</p> <p>各種イベントの集客向上に向けた情報発信については、ターゲットのペルソナ像を作り込み、その人が普段情報収集するツールが何かを調べ、その媒体で情報発信すると効果的かと思います。例えば、高校生は広報かしわよりもSNSが効果を期待できるというイメージです。</p>
所蔵作品の 掲出・展示	香島委員	<p>芸術を身近に触れてもらうことが文化課の仕事でもあると思います。本物の芸術に触れることはお金もかかるし、知識も必要ですが、恒例化した企画をこなす上に大変なことではありますが、情熱を持って取り組んでいただきたい。</p> <p>「芹沢銈介作品展」を1～2年休止してみてもいいかでしょうか。</p>
	亀岡委員	<p>郷土資料室の展示の際、年数回でも学芸員さんの解説があると良いと思っています。</p> <p>芹沢銈介作品は素晴らしいが、似た作品も多く、繰り返し来場いただくにはかなりの企画力が必要と思われます。</p> <p>趣向を変えて、芹沢作品以外の柏市収蔵作品展も見てみたいです。</p>
	熊谷委員	<p>沼南庁舎まで交通が不便に感じます。まずは手軽にいくつかの展示品を見てから、もっと詳しくたくさん展示品を見るには郷土資料展示室へ、と誘導する方向性で対応は可能でしょうか。例えば、一部の作品をパレット柏などで展示するなど。作品の搬入などを踏まえて準備が大変かと思いますが、まずは多くの人の目に触れてもらうのが第一段階と思います。</p>
公式SNSの活用	塘委員	<p>SNSが主流になっている中で、公式SNSの活用は効果的だと思います。フォロワーを増やす案として、「フォロー」や「いいね」をしたらイベントに対して特典が付くようにすると良いのではないかと思います。</p> <p>一度フォローすると情報が入ってくるため、上手に活用できると良いと思います。</p>
課題③ 幅広い世代の市民の 参加	鈴木委員	<p>小学生など学校での授業や部活動で取り組んで学んでいる発表を市民目線で擁護するため、文化祭や藝術鑑賞会等に参加依頼し、文化の情操教育、市の地域おこし、大人との文化活動に一役買っていく。</p> <p>教育委員会と文化団体との距離をさらに身近にして、さらなる町おこし改革に年齢層の拡充に取り組んでいけたらと思います(文化連盟は取り組み中)。</p>
	中村委員	<p>子供達が文化活動に参加するのは、ほとんどが学校での部活動で、卒業とともにやめてしまうことが多いようです。柏市文化連盟では子供達が将来も文化活動を続けられるよう指導者等に対して助成をすることになりました。</p>
	亀岡委員	<p>特に子供達には一回でも心に残る、質の良い体験をさせてあげたいです。仕事も休日もバラバラな時代ですし、子供達も習い事で忙しいようです。各家庭でというよりも学校のカリキュラムとして組んでいただけることを期待します。</p> <p>ダンス、映像など、若者層が関心を持っているジャンルも入れるなど柔軟な検討を希望します。</p>

課題と主な事業	委員	質問や意見の概要
	波木委員	幅広い世代の柏市民に参加を促すためには、まずそれぞれの世代の方々の趣味趣向や興味を持っている事柄を事務局が把握する必要があると考えます。実施事業の参加者の方々に、性別、年齢、国籍を伺い、好きなアーティストや音楽のジャンル、最近行った展覧会などのアンケートを取り、それらを分析して今後の事業の参考にされてみてはいかがでしょうか。
	塘委員	小さい子を持つ母として、夏休み親子DEコンサートはすごく魅力的に感じました。ステージ前のキッズスペース、ベビーカーで入場できる、赤ちゃんが泣いても大丈夫な雰囲気など素晴らしい取り組みだと思いました。私の経験上、音楽は小さい赤ちゃんのうちから良い刺激になると実感しています。赤ちゃんだからまだわからないのではなく、音楽に触れることのできる機会があるということは大事なことだと思います。
柏市文化祭 (中学生ミライ芸術展を拡充)	熊谷委員	コロナ禍であっても、多数の芸術に触れられる機会、開催に至ったことに深く感謝いたします。開催はこれからですが、私自身もとても楽しみにしております。
大人向け音楽ワークショップ	亀岡委員	ただ受講するだけでなく、発表が伴うと本気度が増すように思います。例えばスタジオWUUが開催している「オープンマイク」は興味深く参考になると思われます。
	熊谷委員	聴き手、見る側だけでなく、自分自身も体験して、芸術文化に触れる機会があったらますます興味を持つきっかけになると思います。
美術ワークショップ	熊谷委員	聴き手、見る側だけでなく、自分自身も体験して、芸術文化に触れる機会があったらますます興味を持つきっかけになると思います。
JOBANアートライン協議会事業	熊谷委員	テレワーク、在宅授業の日々から徐々に通勤、通学の機会が増えてきているように思えます。今後は電車を活用することが増える状態になると思われます。華やかな駅構内になること、楽しみにしております。
市の課題として、 全市的な盛り上がり	鈴木委員	柏駅前でのワークショップ等ミックス的発表会を考えることも大切と思います。事業の開催場所は、交通が不便等で観衆が集まりにくい場合もあるため、審議会では観衆の集め方をもっと議論する余地があると感じます。発表演目より盛り上がり、人を集める方策の検討など。
	波木委員	各課と連携してコラボレーションした取り組みがあると、それぞれのリソースが活かして全市的な取り組みに育っていくのではないのでしょうか。例えば、コンサート(文化)×屋台(商工)、芸術鑑賞(文化)×カシニワ・フェスタ(住環境)のようなイメージです。

課題と主な事業	委員	質問や意見の概要
	熊谷委員	人が密にならないように、大きい開催はなかなか難しいかもしれませんが、まずは継続して行っていき、少しずつでも「音楽の街かしわ」を市民、さらに近郊の方々に認知していただくことが大事だと思います。他の市にはないような取り込みも柏市の芸術文化事業にあるように思えます。
市の課題として、柏市のブランディング	波木委員	柏市自体が「どの分野に力を入れて柏を認知させていきたいか」ということに向き合って考える必要があると考えます。
	亀岡委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信を続けることが第一</li> <li>・マスコミの活用</li> <li>・「ちょっと知的で面白いこと」「興味を持たれること(ターゲットを定めて)」が大切</li> <li>・旧吉田邸のように、「〇〇×□□」(掛け算)は効果的なので、もっと周知をするべき</li> </ul>
	塘委員	大型商業施設での要望が多いとのことですが、親子連れが参加しやすいと思うので、ぜひ開催を検討して頂ければと思います。柏市は小さい子を連れて行って大丈夫なコンサートを積極的にやっていて良いな、子どもにいい経験をさせてあげられる市だな、など広まっていけば子育て層も増えていくのではと思いました。また、コロナ禍で、親子が孤立しやすいこの時代、悩んでいる母親は多いと思います。そんな中でリフレッシュできる機会になると良いと思います。
自由意見	亀岡委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏観光プロダクション主催のフットパスツアーに参加したところ、文化財担当のご協力もあり、充実したツアー内容でした。休日の対応等で大変だとは思いますが、このような活動を今後も希望します。</li> <li>・柏市文化振興審議会の書面開催は事務局の意向が伝わりにくい。委員もお互いの発言に触発されて良いアイデアが出るかもしれないので対面式が良い。</li> </ul>
	堀委員	<p>今年度の事業は賛成します。 以下、日頃の私見です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化には長期定着固定化した学芸員等の専門家が必要</li> <li>・長期的視野に立った上での短期5か年計画が必要</li> <li>・収蔵庫の拡充</li> <li>・文化課の首長直下組織への検討</li> <li>・芸術文化活動に貢献している芸術家を含む普及家、功労者の紹介や表彰(学芸員等の専門家による目利きが不可欠)</li> <li>・パレット柏での市企画の拡充</li> </ul> <p>※柏市収蔵作品の展示、ボランティア学芸員を募集、ネット情報の拡充、等で活性化を図る</p>